

令和4年度 鹿児島県高等学校剣道競技大会 開催に向けてのガイドライン

1 大会出場及び運営にあたって

- (1) 観客の入場については、鹿児島県高体連主催大会等の開催における感染拡大防止ガイドラインに従い実施する。
- (2) 各学校の撮影者（チーム関係者）の入館許可。ただし、各学校4名以内（個人戦出場者1名につき1名、団体戦出場チームにつき2名）とし、個人戦終了後に団体戦撮影者と入れ替え制で行う。撮影者は、必ずチーム関係者入場者名簿を提出する。（チーム関係者名簿は、県高体連 HP よりダウンロードすること）チーム関係者入場者名簿は、1日目6月3日(金)・2日目6月4日(土)それぞれの分を、5月27日までに、メールもしくは Fax で川内高校川内先生（アドレス：kawauchi-maki@edu.pref.kagoshima.jp）まで提出してください。チーム関係者入場者名簿をもとに本部で ID を作成し、監督に部門毎に必要な ID を配付する。ID は、各部門の試合終了後、速やかに監督が回収し本部へ返却し、個人戦撮影者用 ID と引き替えに団体戦撮影者用の ID を渡す。（ID は登録した者のみ。使い回しはできない。変更があった場合には、速やかに本部まで届けること）
 - ※ チーム関係者入場者名簿の様式については県高体連 HP の組合せ・連絡・ガイドラインの中にある連絡事項の項目からダウンロードすること。
 - ※ 感染状況によって無観客もしくは入場制限を変更する可能性があります。
- (3) 選手は、面マスク及びいわゆる家庭用マスク（関係者は家庭用マスク）を持参する。選手は試合時には面マスクとマウスシールドを着用すること。マスクは、口鼻を隠し、正しく装着する。シールドに関しては、口を覆うものは必須とし、目を覆うものは自由とする。それ以外（待機時間等）は家庭用マスクを着用する。試合時以外でも面マスクを着用する予定の選手は、面マスクのみの持参で可。
- (4) 大会参加者・関係者は、このガイドラインに即して大会に参加し、感染症対策事項や熱中症予防を遵守すること。これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場などを求めることがある。

2 入場にあたって

- (1) 監督・選手・撮影者（チーム関係者）は施設への入場時、持参した体調チェック表を提示する。
 - ※体調チェック表を持参しなかった者は、原則として入場させない。
 - ※体調チェック表は、県高体連 HP よりダウンロードすること。
- (2) 試合会場内に見学者等は入場させない。
- (3) 入場口にアルコール除菌液を設置する。
- (4) 選手並びに関係者は検温を行う。
 - ※検温により 37.5 度以上ある者は入場できない。
- (5) 撮影者は事前入場許可を受けたチーム関係者名簿に記載されている者のみとする。また、入場にあたっては原則検温を受けることとする。
- (6) 体育館への入場順番について（体育館入り口が、密にならないように、時間差での集合）
 - 6月3日（金）：1日目
 - ① 8時40分：女子個人戦出場者
 - ② 9時：それ以外の選手、部員、女子個人戦撮影者
 - ③ 女子個人戦終了後：男子団体戦撮影者

6月4日（土）：2日目

- ① 8時40分：男子個人戦出場者
- ② 9時 ：それ以外の選手，部員，男子個人戦撮影者
- ③ 男子個人戦終了後：女子団体戦撮影者

※入場の流れについて

入場後 → 各自で体調管理表を準備し提出する。
→ 検温を受ける → 手指消毒を済ませ，速やかに入場する。

※撮影者は，役員用体調チェック表を提出する。

3 大会会場内での留意事項

- (1) 監督・選手並びに関係者は，フィジカル・ディスタンスを常に保つようにする。
- (2) 選手は，試合時に面マスク，マウスシールドを必ず着用し，試合外でも常にマスクを着用する。監督・審判員及び役員もマスクを着用する。
- (3) 選手並びに関係者は，手洗い，うがい，アルコール除菌消毒に努める。また，トイレはふたを閉めてから流す。
- (4) 選手は更衣をできるだけ自宅または学校で済ませ，施設の更衣室を極力使用しない。使用する際には，施設の使用規定を守ること。

4 試合時間について

◆ 団体戦

4分とする。勝敗が決しない場合は引き分けとする。

代表者戦の試合時間は4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は，延長戦を行い，先に1本取ったものを勝ちとする。代表者戦の延長戦の時間は，4分。延長戦が継続する場合は，延長戦2回毎に「休息」と「休憩」を交互に繰り返す。

◆ 個人戦

4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は，延長戦を行い，先に1本取ったものを勝ちとする。延長戦の時間は，4分。延長戦が継続する場合は，延長戦2回毎に「休息」と「休憩」を交互に繰り返す。

付記：「休息」…立礼の位置に下がって深呼吸させる。

「休憩」…選手を選手席に戻し，面を外させて給水させる。試合再開までは4分程度を目途とする。審判員も一度審判席に戻る。

5 竹刀検査

- (1) 検査を受ける者は，マスクを着用する。
- (2) 検査 → 退場のルートを一方通行にする。
- (3) 待機時にフィジカル・ディスタンスを取る。

6 暫定的な試合・審判の方法

- (1) 試合時間の短縮，延長戦は区切って行い，休憩を取り入れる等，マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
- (2) 全剣連ガイドラインに従い，試合者は鏝迫り合いを避ける。やむを得ず鏝迫り合いとなった場合は，すぐに分かれるか引き技を出し，掛け声は出さない。（引き技時の発声は認める）審判員は鏝迫り合いを解消しない場合は，ただちに「分かれ」を宣告する。
- (3) 審判員の試合場への入退場の際は，1メートル以上の間隔を空けて行い，副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- (4) 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。
- (5) 審判員は，試合時マスクを着用する。また，各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し，手指消毒を行う。

7 その他

- (1) 試合会場では常に換気を行う。
- (2) 主催者は，多くの人が触れる用具，箇所（ドアノブなど）を定期的に消毒する。また，施設内トイレの出入口にアルコール除菌液とペーパータオルを設置する。
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は，主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

8 保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大の大変厳しい状況の中での開催にあたり，保護者の皆様には，時間差による入場制限に伴う送迎の負担等，多くのご協力をいただくこととなりました。日頃から大会に向け，頑張ってきた高校剣士たちのために，以下の注意点を遵守し節度ある行動で温かく見守ってください。

- ① 体育館周辺での生徒の乗降，荷物の積み下ろし等の行為は禁止とします。
- ② 体育館周辺にシートを敷いて場所を確保や，体育館周辺で待機する行為は禁止とします。